

H19高次修練 循環器病態学分野/循環器内科

下川宏明教授

一般目標	行動目標	指導内容	受け入れ学生数	担当教員名	関連施設・指導医名	研修病院見学可能日数(4週当たり)
<p>1. バイタルサインのチェック・胸部診察ができる</p> <p>2. 循環器の基本的な検査が理解できる</p> <p>3. 循環器疾患の侵襲的検査の適応と結果を理解できる</p> <p>4. 循環器疾患の基本的治療方針が理解できる</p>	<p>・脈拍・血圧測定が実践できる</p> <p>・心臓の診察を実践できる</p> <p>・基本的な心臓の聴診を実践でき、かつ理解できる</p> <p>・基本的心電図が読める</p> <p>・基本的胸部X線写真が読める</p> <p>・基本的心臓超音波検査の結果を理解できる</p> <p>・スワンガンツカテーテルの適応と結果を理解できる</p> <p>・心臓カテーテル検査・冠動脈造影検査の適応と結果を理解できる。</p> <p>・基本的薬物の使い方が理解できる</p> <p>・冠動脈インターベンションの適応が理解できる</p>	<p>●循環器疾患の診断と治療</p> <p>(1)非観血的診断法 心臓聴診法、心電図、心エコー図の習得</p> <p>(2)観血的診断法 心臓カテーテル検査、冠動脈造影、電気生理学的検査の適応の理解、結果の解釈および実施への参加</p> <p>(3)カテーテル治療 経皮的冠動脈形成術、カテーテルアブレーションの適応の理解および実施への参加</p> <p>4)ベッドサイドにおける循環器病診断と治療 循環器疾患患者を指導医のもとで担当し検査・治療の計画と実施に携わる</p> <p>●実施要領 大学病院では、虚血グループ(虚血性心疾患)、不整脈グループ(不整脈疾患)、循環グループ(肺高血圧症、弁膜・心筋疾患)の何れかに属する。2週間を一つの単位として、前述の大学病院の各グループまたは関連施設を希望によりローテートする。原則として、最低2週間は大学病院の何れかのグループにおいて修練を行うものとする。また、各関連施設は一時期に一人ずつとする。みやぎ県南中核病院と大崎市民病院では、平日に宿泊施設に泊まり週末は自宅に帰る。</p>	7	<p>加賀谷 豊</p> <p>柴 信行</p> <p>安田 聡</p> <p>福本義弘</p> <p>縄田 淳</p> <p>高橋 潤</p> <p>熊谷 浩司</p> <p>福田 浩司</p> <p>若山裕司</p> <p>越田亮司</p> <p>伊藤健太</p> <p>中山雅晴</p> <p>越田亮司</p> <p>杉村宏一郎</p> <p>菅井義尚</p> <p>広瀬尚徳</p>	<p>仙台医療センター・篠崎 毅</p> <p>仙台オープン病院・金澤正晴</p> <p>みやぎ県南中核病院・井上寛一</p> <p>大崎市民病院・平本哲也</p>	5日以内

H19年度に当科において高次修練を行う学生数(計17名)	
4月	6名
5月	3名
6月	4名
7月	4名